

JAグループ宮城百歳元気プロジェクト 推進 NFW8

Vol.38

【令和元年5月】

JA宮城中央会
営農農政部



7

開催報告

平成30年度 JA 高齢者福祉・健康いきがづくり推進大会

去る3月22日、仙台市 JAビル宮城にて、「平成30年度JA高齢者福祉・健康いきがづくり推進大会～組合員・地域住民の「拠り所」機能の発揮に向けて～」を開催致しました。



石橋のり子氏 >

大会では、JA三重中央会の石橋のり子次長、JA鳥羽志摩（現JA伊勢）の坂口みのり課長をお呼びし、三重県のJAで行う百プロ活動と、組合員・地域住民が集う居場所づくり「ふらっとほーむ」の取り組みについてご報告いただきました。

三重県下JAでは「JA助け合い組織ネットワークみえ」として11JA13組織の助けあい組織で構成しており、年2回の会議と1回の交流集会を実施しています。交流集会ではレインボー体操、JAてんとうムシ・みつばち体操のほか、30年度からは手作りの大運動会を開催し、会員間の交流を促進しています。普段の活動はミニデイ、病院ボランティア、有償ボランティアと様々ですが、男性会員の加入にも力を入れています。

ふらっとほーむは、高齢者に限らず地域の人々が好きな時に「ふらっと」来て、交わり楽しめる場所を提供するという活動であり、平成16年から実施しています。助けあい組織の会員が、中央会独自の資格認証制度である「ふらっとほーむコーディネーター」の養成研修会に参加することで、運営主体を努める仕組みです。研修会では対人援助、レクレーションや脳トレ等の技術を学び、ふらっとほーむの運営に生かします。

JA鳥羽志摩では、閉店したJAの店舗を活用し、伝統料理作りやわらそうり作りを行うなど、行政との連携も含め、活動の広がりを見せています。また経済店舗の改装によりできたスペースを活用し、朝市の開催、休憩スペースや味噌工房設置など精力的に行っています。いまある資源を有効活用し、お年寄りから子どもまで様々な方を巻き込んだ活動



坂口みのり氏 >

へと進化させている様子に、参加者一同は感心するばかりでした。

また、仙台大学の田中新助手（健康運動指導士）からは、講師派遣実績の報告と、簡単にできる脳トレ、体操を行いました。田中さんの軽妙洒脱な進行により、会場は笑いの渦に包まれ、大いに盛り上がりました。指導後は「うちにも来て！」と多くのJAからオファーを受けるなど大人気でした。

会の最後には、JAみやぎ仙南 白石地区女性部長 佐藤裕美子さんによる申し合わせを行いました。



田中亨氏 >



中級・上級推進員認定式

いきがづくり推進大会では、平成30年度に中級・上級推進員と認定された百プロ推進員の認定式を執り行いました。今年度は中級が9名、上級が29名の計38名が認定となりました。

更なる活動の促進に期待しています！また、令和元年度も引き続き申請をお待ちしております。

【中級推進員(敬称略)】

JAみやぎ仙南		
女性部白石地区	副部長	佐藤 とし子
JA栗っこ		
女性部築館支部		佐藤 勝江
女性部築館支部		千葉 よね子
女性部高清水支部		鎌田 ちい子
女性部高清水支部		中村 眞喜子
女性部瀬峰支部		佐々木 りつ子
女性部志波姫支部	支部長	高橋 美智江
女性部金成支部		菅原 喜恵
女性部栗駒支部	支部長	高橋 京子

【上級推進員(敬称略)】

JAみやぎ仙南		
女性部 柴田地区		加茂 ひろ子
柴田地区事業本部	組合員担当	小林 幸江
川崎地区事業本部	組合員担当	佐々木 美代子
蔵王地区事業本部	組合員担当	我妻 奈佳子
女性部 白石地区	部長	佐藤 裕美子
〃		高橋 ヨウ子
助け合い組織つくしんぼ	会長	鈴木 ゆう子
〃	副会長	柳川 良子
〃	副会長	佐藤 いち子
〃		八嶋 洋子
〃		大浦 なつ
〃		大浦 ひとみ
〃		大浦 茂子
〃		大津 みつ子
〃		阿部 みえ
丸森地区事業本部	組合員担当	菊地 照美
女性部 丸森地区	部長	玉手 きよえ
女性部 丸森地区	副部長	齋藤 亮子
くらし相談課		村山 みゆき

JA栗っこ		
女性部高清水支部	支部長	塩澤 紀美子
女性部瀬峰支部	支部長	小野寺 知子
女性部志波姫支部		菅原 利子
女性部若柳支部	支部長	上野 吉子
女性部一迫支部	支部長	熊谷 初美
女性部金成支部	支部長	千田 サチ子
女性部金成支部		千田 道子
女性部栗駒支部		佐藤 みき
女性部栗駒支部		伊藤 すみ子

JA南三陸		
気仙沼地区女性部	部長	吉田 ヨシ子



開催します！
第9回
あなたに届ける JA 健康寿命 100 歳弁当コンテスト

JA全中主催で毎年開催され、本県でも毎年応募があり、受賞実績もある人気のコンテストです。前回、前々回と受賞を逃していることから、新元号初の受賞を目指し、是非応募してみてください！【※切：8月30日(金)】

応募部門は、永山久夫先生提唱の「5食を食べて達者が一番」部門と小山浩子先生提唱の「乳和食」部門の2部門があります。詳細はJA若しくは中央会担当者までお問合せください。
 ※これまでの入賞作品は専用HPにてレシピのダウンロードが可能です。



JA 高齢者福祉ネットワーク

発行(お問合せ先)
 JA宮城中央会 営農農政部(高田)
 TEL:022-264-8245 FAX:022-264-8239